

# ゆもと通信

大田区 地元の『ゆもと』

2022年 第19号

大田区議会議員(4期目) 大田区へ政策提言



ゆもと良太郎 プロフィール

45歳3児の父

昭和51年5月10日  
大田区大森生まれ(A型)。  
大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治  
大学商学部貿易コース卒。都議会議員秘書を経て、  
平成15年4月  
大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出  
馬、初当選(5536票)。66候補者中、新人1位。  
平成19年4月  
大田区議会議員選挙にて2期目の当選(5419票)。  
平成27年4月  
大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。  
平成31年4月  
大田区議会議員選挙において4期目の当選(7794票)。

令和3年度 健康福祉委員会委員長(新型コロナ対応に奔走)  
自由民主党大田区民連合 政務調査会長

## 令和4年度 大田区一般会計予算

# 3,008億7千万円余

特徴は?

昨年度と比較すると、予算規模は  
約71億円の増額となっています。

その中身を見ると、財政基金(わかりやすくいうと貯金)から86億円を取り崩して歳入に繰入れており、新型コロナウイルス対策や防災、自治体のデジタル化、児童相談所の設置、SDGs推進、脱炭素社会の実現など区民ニーズと時代の潮流に応える行政運営を目指した予算が立てられた積極財政予算といえます。

疑問① 区債(借金)を発行し、財政基金(貯金)を崩して予算を組んでも大丈夫なのか?

令和4年の特別区債からの歳入は75億円、財政基金の取崩しは86億円です。去年の特別区債からの歳入は70億円ですから昨年度比+5億円です。去年の財政基金の取崩しは118億円、昨年度比-32億円です。昨年度と比較して、**わかりやすく言うと借入を増やして、蓄えの取崩しを圧縮したことになります。**下の図は大田区の基金と特別区債の状況を表したものです。財政基金(貯金)は426億円に対し、特別区債は217億円です。この状況を見ると現在の財政基盤が安定していると言えます。

	区 分	2年度末残高	3年度末残高見込	4年度末残高見込
〈参考〉 基金・特別区債の 状況	財政基金	505	492	426
	減債基金	33	23	0
	公共施設整備資金積立基金	439	445	396
	特別区債	183	182	217

2年度は決算額、3年度は第8次補正予算(案)後、4年度は予算(案)における年度末残高見込 (単位:億円)

主なテーマ・事業

新型コロナウイルス感染症対策 (45億48万9千円)

- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業

包摂的な  
地域づくり・健康 (5億834万4千円)

- ・(仮称)子ども・若者総合相談窓口及び居場所の整備
- ・人生100年時代における老いじたく推進事業
- ・重層的支援体制の推進

防災・減災力 (17億6,599万1千円)

- ・防災意識の向上
- ・水防活動拠点の整備

デジタル技術の活用 (6億1,628万4千円)

- ・区における自治体DXの取組み
- ～区民利便性の向上、データの利活用、  
効率的・信頼性の高い区運営～

学びの保障 (69億8,076万6千円)

- ・ICT教育推進事業
- ・不登校対策事業

子育て支援 (3億2,195万8千円)

- ・(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの整備
- ・予防的支援推進とうきょうモデル事業の実施等

脱炭素化・SDGs (1億987万8千円)

- ・環境と経済の両立を目指すSDGs推進プロジェクト
- ・脱炭素社会の実現に向けた取組み



## 疑問② 新型コロナの影響で税収の落込みはどの程度？

令和4年度の歳入を見ると特別区税は約765億円、昨年度と比較すると1.4%増(約10億円増)となっています。

これは区民の平均収入は昨年度と比較して増えた事を表しています。また、特別区交付金は約750億円、昨年度比11.9%増(約80億円増)となり、法人税が伸びている状況があります。

この数字は意外だと思いましたが、国が行った新型コロナ対応の為の給付金を始めとした各種施策などの効果と、令和3年までの日本経済が分野によって好調と不調がはっきりと分かれた事が伺えます。

また、注目すべき点は地方消費税交付金の減収です。令和4年歳入は約155億7千万円、昨年度比-4.5%(7.3億円減)となっていることから消費は落込んでいます。

新型コロナの終息は不透明であり、ロシアのウクライナ侵攻の影響などから原油高はしばらく続きそうな中で、消費の落込みが加速した場合を考えると楽観できる見通しではないと言えます。

区としても、落ち込んでいる分野を精査し、必要に応じて地元産業を支えていく施策が今後も必要であると考えます。

## 皆様のご意見をお聞かせ下さい

大田区議会議員 ゆもと良太郎事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10 TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482  
<http://www.yumoryo-otacity.jp> ☒ [info@yumoryo-otacity.jp](mailto:info@yumoryo-otacity.jp)

## 疑問③ いま、必要な施策って何？

大田区政に関する世論調査「特に力を入れて取り組んで欲しい」こと

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1位 防災対策(62.8%)  | 4位 児童福祉(38.3%)  |
| 2位 防犯対策(52.6%)  | 5位 高齢者福祉(38.1%) |
| 3位 保健・健康対策(41%) |                 |

と、なっています。区民ニーズに応える為の重点課題解決の予算が組まれています。また、2040年には区内高齢者人口がピークを迎え、約19万人という人口推計ができています。仮に区内人口を72万人とすると26%が高齢者となり現役世代の負担は増すこととなります。当然のことですが先を想定し必要な準備をすると、その準備が新型コロナの様なイレギュラー(突発的事案)が発生しても対応できる弾力性を生みます。例えば教育現場では、新型コロナ流行以前よりICT化を進めてきた事で、感染拡大が進んでもリモート授業が受けられる環境にあり、学びの保障を形にするのに大きく役立っています。その様な観点からも、行政のデジタル対応やカーボンニュートラルSDGsも含めて、今取り組まなければならない重要な施策に対応できる予算と判断し、令和4年度予算に賛成をしました。

**引続き、『次の世代にも責任を持つ大田区』の実現に向け活動して行きます。**